

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

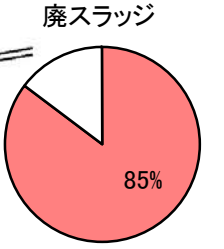
- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
  - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
  - ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②廃棄物発生量
  - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし
- ③処理水タンク貯蔵量(地下貯水槽ivを加えて約33万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>設置済み)
  - ・淡水化装置による処理により、淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は変動あり
  - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ④5、6号機滞留水貯蔵量
  - ・構内散水によりF・Hエリア等タンク貯蔵量は変動あり

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

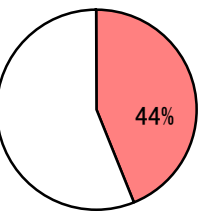
施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約14,000m <sup>3</sup>	OP.2,739
2号機	約23,200m <sup>3</sup>	OP.3,226
3号機	約21,000m <sup>3</sup>	OP.2,697
4号機	約16,100m <sup>3</sup>	OP.2,726
合計	約74,300m <sup>3</sup>	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約14,900m <sup>3</sup>	OP.4,210
高温焼却炉建屋	約4,170m <sup>3</sup>	OP.2,868
合計	約19,070m <sup>3</sup>	

②廃棄物発生量

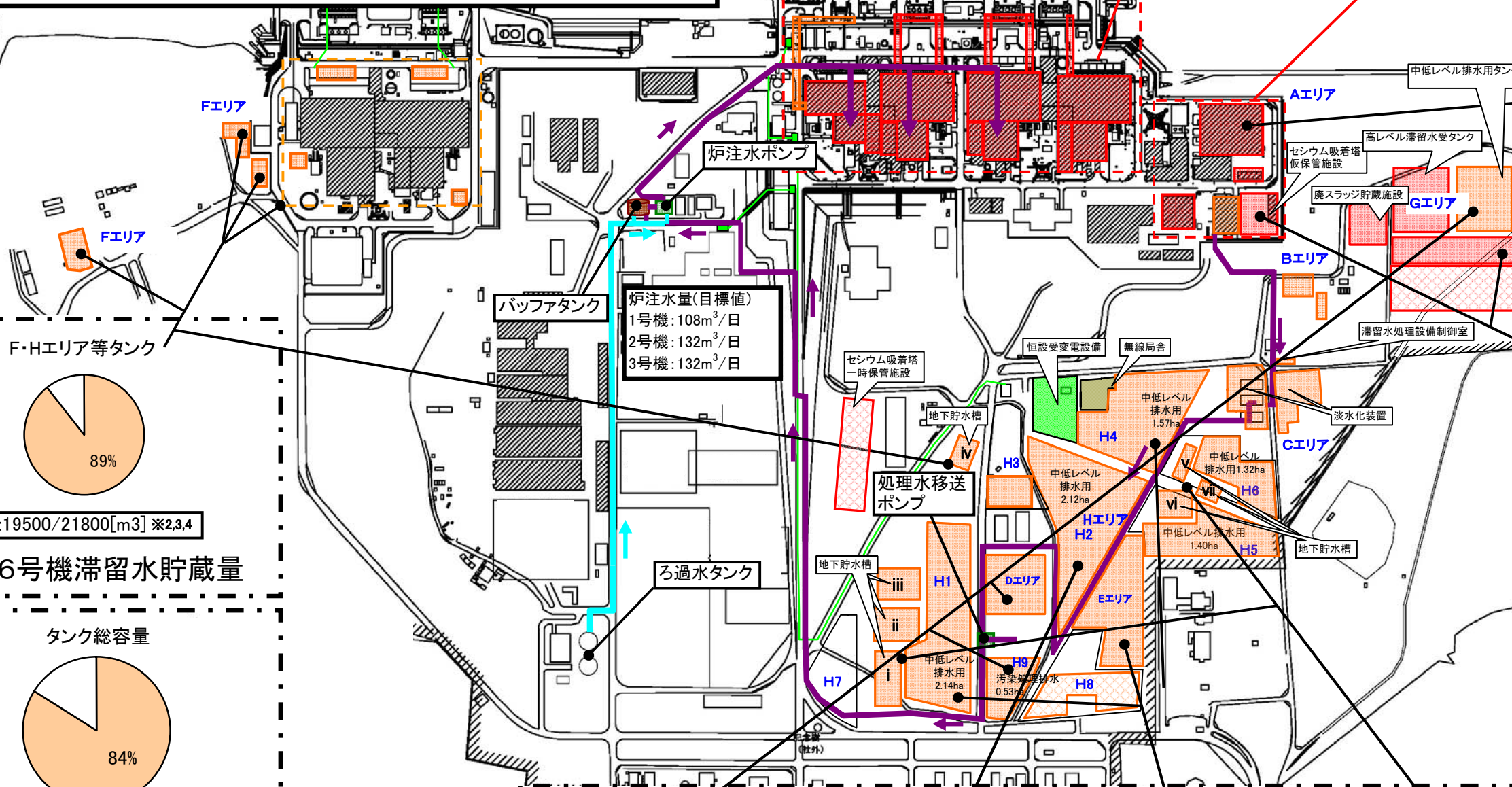


保管量:597/700[m<sup>3</sup>] ※3

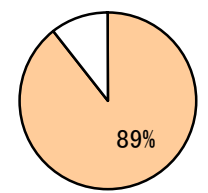


保管量:498/1137体 ※1

中低レベル(既設)  
 中低レベル(追設予定)  
 高レベル(既設)  
 高レベル(追設予定)  
 移送ホース布設ルート  
 淡水注水ルート

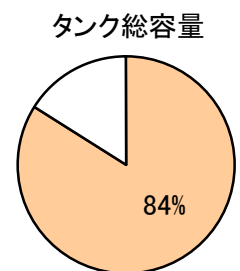


炉注水量(目標値)  
1号機:108m<sup>3</sup>/日  
2号機:132m<sup>3</sup>/日  
3号機:132m<sup>3</sup>/日



水量:19500/21800[m<sup>3</sup>] ※2,3,4

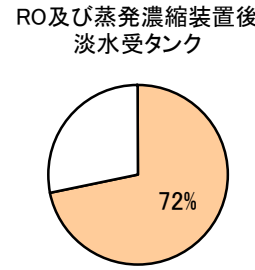
④5、6号機滞留水貯蔵量



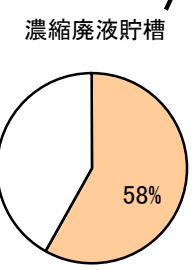
水量:291316/347100[m<sup>3</sup>] ※2,3

貯蔵量合計(③+④)

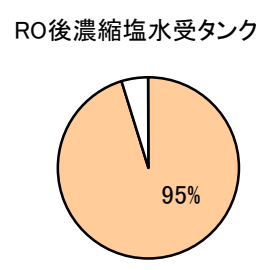
※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセルを含む  
 ※2 装置稼働中につき水位が静定しないため参考扱い  
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す  
 (タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てして表記)  
 ※4 Hエリアのタンク(約3,000m<sup>3</sup>分)、地下貯水槽iv(約3,400m<sup>3</sup>(運用上の上限値))  
 及び5,6号機周辺仮設タンク(約4,500m<sup>3</sup>)を5,6号機滞留水に使用  
 ※5 多核種除去設備の処理水も貯蔵予定。5,6号機滞留水を貯蔵中の地下貯水槽ivを除く



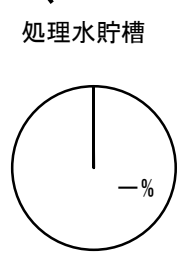
水量:22502/31400[m<sup>3</sup>] ※2,3



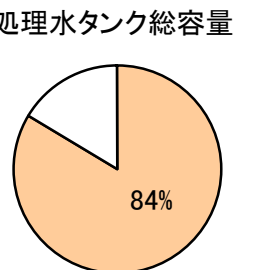
水量:5524/9500[m<sup>3</sup>] ※2,3



水量:243790/255700[m<sup>3</sup>] ※2,3



水量:-/28700[m<sup>3</sup>] ※3,5

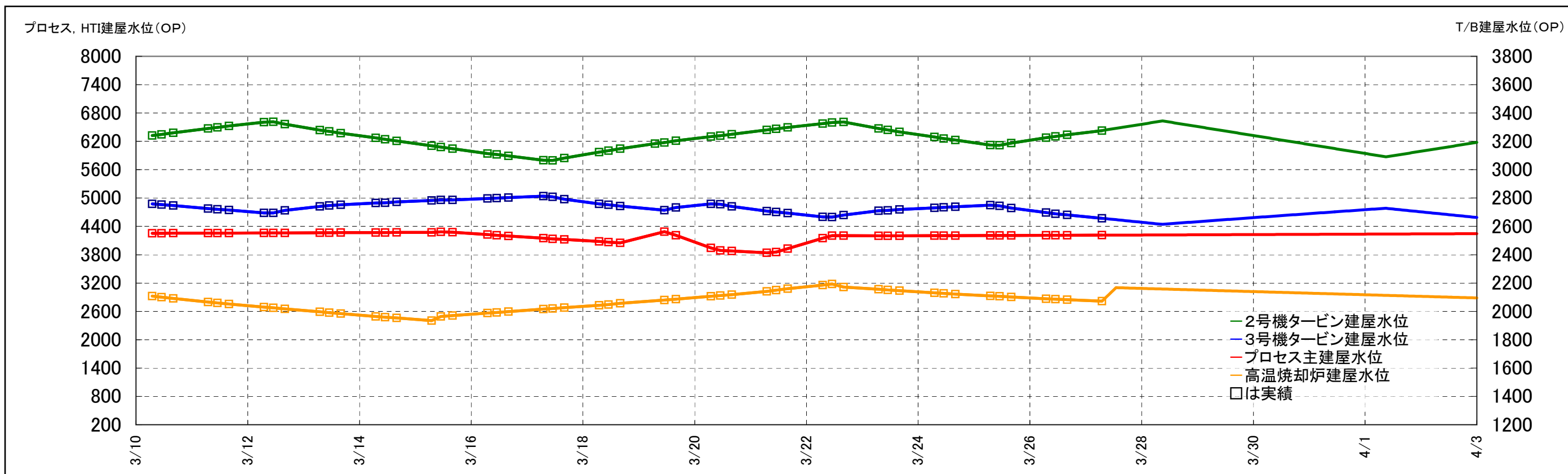


水量:271816/325300[m<sup>3</sup>] ※2,3,5

③処理水タンク貯蔵量

# 滞留水の処理状況(3月27日時点)

## 2, 3号機タービン建屋及びプロセス主建屋, 高温焼却炉建屋の水位グラフ



## 処理装置の稼働状況

